

(6) 有害赤潮広域共同調査

予算

水産庁委託：平成29年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業のうち赤潮・貧酸素水塊対策推進事業（瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発）

概要

1. 有害赤潮等分布拡大防止のための発生モニタリングと発生シナリオの構築（夏季調査）
有害プランクトンの広域モニタリングを行うとともに、その情報を関係者に迅速に伝達し、被害の未然防止に努めた。関係機関の地先海域ごとに*Chattonella*属赤潮の発生と気象・海象との関係について判別分析による解析を実施し、シナリオ作成を実施した。
2. ノリ色落ち原因珪藻の出現諸特性の解明と発生予察（冬季調査）
ノリ色落ちの原因となる珪藻類の発生モニタリングを行うとともに、その情報を関係者に迅速に伝達し、色落ち被害の軽減に努めた。珪藻プランクトンの分布と気象条件・海洋環境との関係を検証するために、判別分析による解析およびシミュレーションモデルによる流動場を利用して粒子追跡実験を行った。
3. 大阪湾における基礎生産簡易測定技術の開発
光合成活性・クロロフィルaによる方法および疑似現場培養法により水柱基礎生産量を推定し、方法間で測定結果を比較検討した。

担当者

秋山 諭、上田真由美、田中咲絵、横松宏幸、曾根耕治、山本圭吾